

2011年2月14日

各位

会社名 NKSJホールディングス株式会社  
代表者名 取締役会長 兵頭 誠  
取締役社長 佐藤 正敏  
(コード番号 8630 東証・大証)

### 生命保険子会社の合併基本事項および直接子会社化に関するお知らせ

当社は、グループ傘下の生命保険会社である損保ジャパンひまわり生命保険株式会社（社長 松崎 敏夫）と日本興亜生命保険株式会社（社長 橋本 和生）の合併に関し、本日開催の取締役会において、合併新会社の商号、代表者、所在地等の基本事項および新会社を当社の直接子会社とすることについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

なお、両社の合併は、関係当局の認可等を前提とします。

#### 1. 合併に関する基本事項

- (1) 商号 NKSJひまわり生命保険株式会社  
(英文名称：NKSJ Himawari Life Insurance, Inc.)
- (2) 合併期日 2011年10月1日
- (3) 存続会社 損保ジャパンひまわり生命保険株式会社
- (4) 事業内容 生命保険事業
- (5) 資本金 172.5億円
- (6) 代表者 代表取締役社長 松崎 敏夫
- (7) 本店所在地 東京都新宿区西新宿六丁目13番1号新宿セントラルパークビル

#### 2. 当社の直接子会社化について

NKSJグループにおいて、新会社を国内損害保険事業に次ぐ収益の柱である生命保険事業を担う戦略的子会社と位置付け、合併と同日付けで新会社を当社の直接子会社とします。

これにより新会社の経営基盤をさらに強固なものとし、両社の特色や強みを活かして成長を加速させ、企業価値の向上を目指します。

#### 3. 今後の見通し

当該組織再編による当社の2011年3月期連結業績に与える影響は軽微であります。

以上

※シンボルマーク

新会社のシンボルマークをお知らせします。

# NKSJひまわり生命



**【社名・シンボルマークに込めた思い】**

最高品質の安心とサービスをご提供することで、お客さま一人ひとりの輝く笑顔を見守りつづけたい。その想いを、太陽を見つめつづける「ひまわり」に重ね、社名・シンボルマークとして表現しました。

また、大空へと高く、大きく成長するそのイメージは、NKSJグループの中核生命保険会社として、経営基盤をさらに強固なものとし、成長を加速していく新会社の姿を表しています。

**【参考】 当事会社の概要（2010年3月末現在）**

名 称	損保ジャパンひまわり生命保険株式会社	日本興亜生命保険株式会社		
本店所在地	東京都新宿区西新宿 2-1-1	東京都中央区築地 3-4-2		
代表者の 役職・氏名	代表取締役社長 松崎 敏夫	代表取締役社長 橋本 和生		
事業内容	生命保険事業	生命保険事業		
資本金	172億5,000万円	200億円		
設立年月日	1981年7月7日	1996年8月8日		
決算期	3月	3月		
従業員数	1,517名	545名		
株主及び 持株比率	株式会社損害保険ジャパン 100%	日本興亜損害保険株式会社 100%		
財政状況 及び 経営成績	純資産	55,416百万円	純資産	25,528百万円
	総資産	1,122,133百万円	総資産	468,988百万円
	経常収益	258,426百万円	経常収益	101,554百万円
	経常利益	4,088百万円	経常利益	2,115百万円
	当期純利益	1,315百万円	当期純利益	551百万円

## 将来予想に関する記述について

本書類には、NKS Jホールディングス株式会社（以下「当社」）にかかる「将来予想に関する記述」に該当する情報が記載されています。本書類における記述のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、かかる将来予想に関する記述に該当します。これら将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しています。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、かかる将来予想に関する記述に明示的または黙示的に示される当社の将来における業績、経営結果、財務内容に関してこれらと大幅に異なる結果をもたらす可能性があります。当社は、本書類の日付後において、本書類の将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。投資家の皆様におかれましては、今後の日本国内における公表および1934年米国証券取引法に基づく米国証券取引委員会への届出および提出において当社の行う開示をご参照ください。

なお、上記当社のリスク、不確実性およびその他の要因の例としては、以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、当社の四半期報告書にも記載されていますのでご参照ください。

- (1) 日本の経済情勢悪化による影響
- (2) 損保事業の競争が激化するリスク
- (3) 法律、規制、制度等の変更による影響
- (4) 保険商品に関する自然災害リスク
- (5) 予測を超える損害の発生に伴うリスク
- (6) 再保険に関するリスク
- (7) 株価の下落による影響
- (8) 金利の変動による影響
- (9) 信用リスク
- (10) 為替の変動による影響
- (11) 流動性リスク
- (12) 生命保険事業に関するリスク
- (13) 海外事業に関するリスク
- (14) 関連事業に関するリスク
- (15) 格付の引き下げによる影響
- (16) 自然災害等の発生に伴う事業中断リスク
- (17) 情報漏えいに関するリスク
- (18) 風評リスク
- (19) システム統合リスク
- (20) 統合シナジーが十分に発揮されないリスク
- (21) 生命保険子会社の合併に関するリスク
- (22) その他のリスク